

九月三十日
古野國守
久野國守
學



四、各小隊八名守久野附近ニ於テ自動車拖体並ニ偽
装ノ構築實施

五、本日總員中隊長以下一三三名

一、主力八移轉一部ヲ以テ飛行場輸送實施

二、六三〇一〇九〇移轉準備

三、九〇〇一〇二〇〇移轉開始終了

四、七〇〇一〇一六〇岩崎中尉以下十七名自動車
八輛ヲ以テ中飛行場設定要員ヲ喜名、伊波、楚

南ニ輸送

五、午後各車廠、偽装並ニ爾後ノ行動ノ準備ヲ實施

六、近藤少尉以下十九名藏敷附近ニ於テ坑道掘開

作業實施

七、本日總員中隊長以下一三三名

日々命令

陸軍々曹 長谷川重吉

給二等給

(九月三十日附)

折見



連日寧日無キ作戰行動ニ依リ兵ノ疲勞漸ク加ハ

ラントス軍隊指揮官タルモノ公務ノ為ニ統帥ノ

大權ヲ承行スルニ此カノ躊躇アルベカラザルハ勿論

ナルモ最後ノ決戰場ニ於テ兵ノ健全ナル体力ト斬

昂タル軍人精神カ凡テ元戦力ノ根基タル事ヲ信

シ繁多ナル行動ニ紛ハサル、事無ク其ノ行動ト

併行ニ兵ノ体力維持増進ノ對策即チ給養衛

生体操等合理的ニ實施シ以テ敵上陸前ニ於

ケル兵員並ニ体力ノ損耗ヲ極力防止シ以テ決戦

三 細部ハ別ニ指示ス

大隊長

服藤照近

下達法 以達後印刷交付

山八三小作命第三七號

小松隊命令

九月一日。八〇。國

一 兵團ハ新ニ軍犬二十頭交付セラレ病馬收療
所長ヲシテ其ノ管理飼育並ニ軍犬兵教育ニ
任ゼシメラル

二 第二小隊長ハ左記ニ依リ右要員トシテ兵一ヲ
九月一日ハ〇。迄ニ病馬收療所ニ差出し該長ノ
指揮ニ入ラシムベシ

左記

一 服装 軍装トシ個人裝備ヲ携行
ニ 教努テ經驗者亦ハ愛犬者タルコト
ヲ差出場所 宇久田國民學校

三 細部ハ別ニ指示ス

中隊長 小松保男

下達法 口達筆記

山ハミ正作命第五二號

第二大隊命令

九月二日 八〇〇
吉野國民學校

- 一 大隊ハ薪炭採集隊ニ所要人員器械ヲ
差出スト共ニ一部、兵力ヲ以テ同隊、糧
秣資材及薪炭、輸送ニ任セントス
- 二 各隊長ハ附表、薪炭採集隊兵力ヲ
九月四日各々現在地ニ於テ其、編令ニ
入ラシムベシ
- 尚出發ニ関シテハ別命ス
- 三 鈴木隊 小松隊 高橋隊ハ附表、器
材ヲ九月五日一〇〇〇迄ニ歸隊本部澤谷
伍長、許ニ差出スヘシ
- 四 鈴木隊長、高橋隊長ハ別ニ示ス兵力ヲ

五、細部ニ関シテハ現地ニ在リテハ卷少尉ヲシテ指示

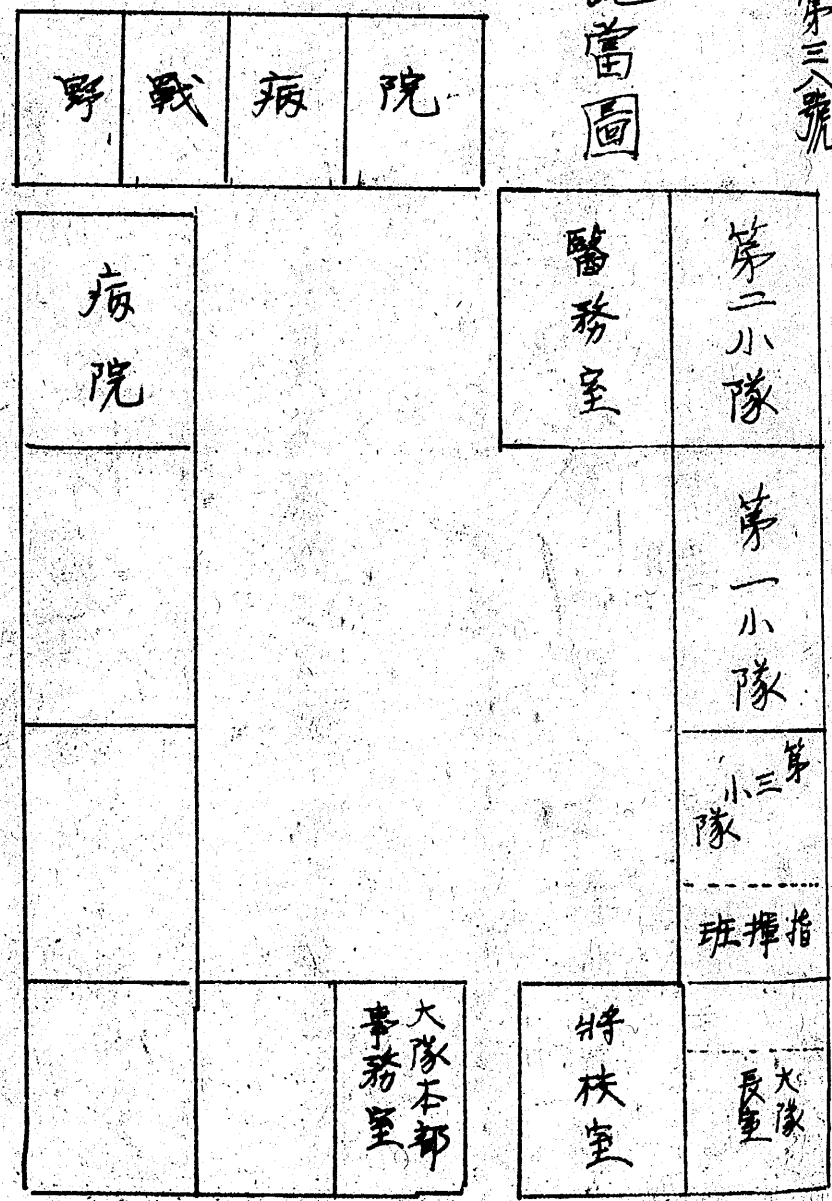
セシム

中隊長 小松保男

下達法口達筆記

山三小作命第三八號
別紙

校舎配當圖



五細部ニ関シテハ現地ニ在リテハ卷少尉ヲシテ指示

セラム

新	隊	下	隊
		中隊長	小松保男
		事務室	大坂本陣

隊司令部

山八三小作命第三九號

第一小隊	第二小隊	第三小隊	第四小隊
新	新	新	新

山八三小作命第三九號

小松隊命令

九月二日ニ〇。〇。國

一大隊ハ薪炭採取隊ニ所要ノ人員器材ヲ差出スト
共ニ一部ノ兵力ヲ以テ同隊ニ糧食資材及薪炭ノ
輸送ニ任ズ

ニ中隊ハ右要員及器材ヲ左記ニ依リ差出サントス
左記

人員 第一期 自十月一日
作業期間 第二期 至十月末日
服装 個人裝具完備
器材 鋸 二

円匙ニ

三第二第三小隊長ハ各々兵一ヲ差出スベシ但シ出發ノ時
機ハ別命ス

四兵器掛下士官ハ左記器材ヲ九月五日一〇。〇。迄ニ聯
隊本部澤谷伍長ノ許ニ差出スベシ

五細部ニ関シテハ別ニ指示ス

中隊長 小松保男

下達法 口達筆記

山八三小作命第四。號

小松隊命令

九月三日一八。〇。
右堅國民學校

一大隊ハ本夜以降渡具知港滯貨軍需品ノ
夜間輸送ヲ實施ス

二中隊ハ當分間本夜間輸送ヲ實施セントス

三八卷少尉ハ各小隊差出ノ人員車輛ヲ指揮
シ本輸送ニ任ズベシ

四各小隊ハ本輸送間左記人員車輛ヲ八卷少
尉ノ指揮下ニ入ラシムベシ

左記